

もっといっしょに。

120年 神戸新聞創刊120年

ひょうご五国撮り旅

神戸新聞創刊120周年を記念して兵庫県内を巡る日帰り撮影バスツアー「ひょうご五国撮り旅 第4回摂津」を11月21、27日に実施します。今回のメインは紅葉の時期に合わせ、西宮市から宝塚市までの「武庫川廃線敷ウォーク」。JR西宮名塩駅から「関西の奥座敷」武田尾駅までを散策、深まる秋を撮影します。

第4回 摂津

11月21、27日

プロが写真術手ほどき

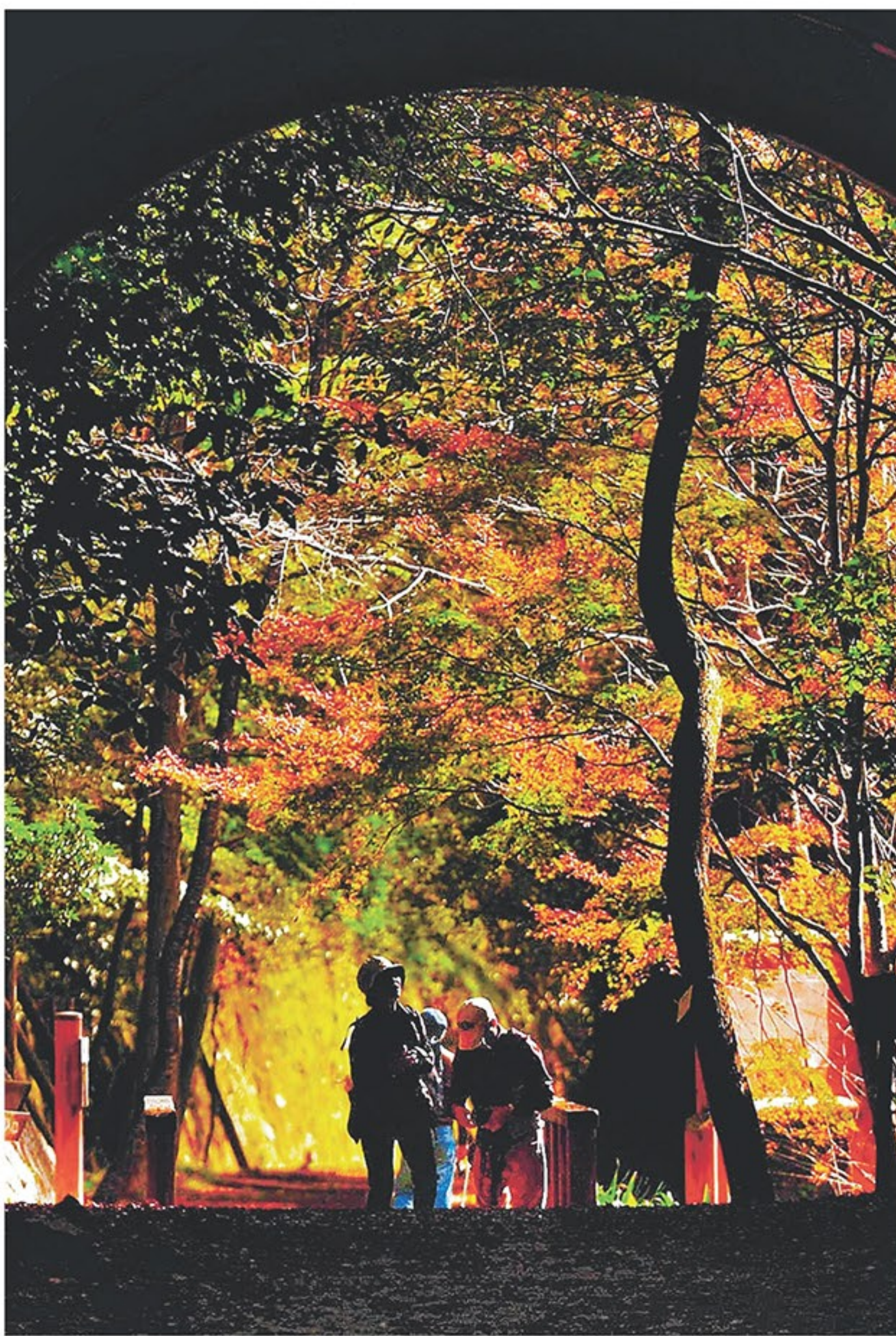
同ツアーはミントクラブと神戸新聞旅行社の合同で開催する年間企画。毎回神戸新聞社のカメラマンを講師に迎えた写真撮影旅行です。

第4回は「紅葉彩る武庫川廃線敷ウォークと一庫ダム見学」です。1986(昭和61)年以降、廃線となった旧国鉄福知山線は、2016(平成28)年に一般開放され、人気のハイキングコースとなっています。今回は、JR西宮名塩駅から武田尾駅までの約8kmを歩きながら、武庫川渓谷を染める紅葉にレンズを向けます。

線路は撤去されているものの往時のトンネル、鉄橋、足元は枕木やバラスが残っています。また眼下の武庫川は岩場や急流が目を見せます。昼食は武田尾温泉・老舗旅館「紅葉館 別庭あざれ」で、秋の味覚を楽しみます。

このほか川西市の一庫ダムを見学します。淀川水系の猪名川に建設されたダムで、阪神地域などの洪水を防ぐとともに飲料水などに利用。普段、入ることのないダム内部や放水を間近で見ることができます。

最後は伊丹市の大手酒造メーカー小西酒造の長寿蔵ミュージアムです。清酒発祥の地伊丹の老舗が培ってきた酒造りの歴史を実際に使われた道具で再現して展示。隣接する販売店では試飲、お買い物を楽しんでいただきます。



武庫川廃線敷のトンネルから臨む紅葉。宝塚市切畑

伝統今に 築200年の酒蔵

白雪ブルワリービレッジ長寿蔵

清酒発祥の地とされる伊丹で1550(天文19)年創業の小西酒造が1995年に開業した複合施設です。2000年前に建てられた酒蔵を改装。しつこいと焼き板の壁など往時の雰囲気色濃く残す、酒蔵の町伊丹のシンボルです。



江戸後期の酒蔵を改装、レストランや博物館の機能を持つ伊丹市中央3

ミニシアターでは丹波酒造りとして名を馳せた伊丹の酒造りと、老舗銘酒「白雪」の歴史を、江戸時代の道具類、酒蔵のジオラマなどでたどります。このほか近年、同社が力を入れる地ビール「紹介コーナー」や飲食店、売店などがあります。

武庫川廃線敷

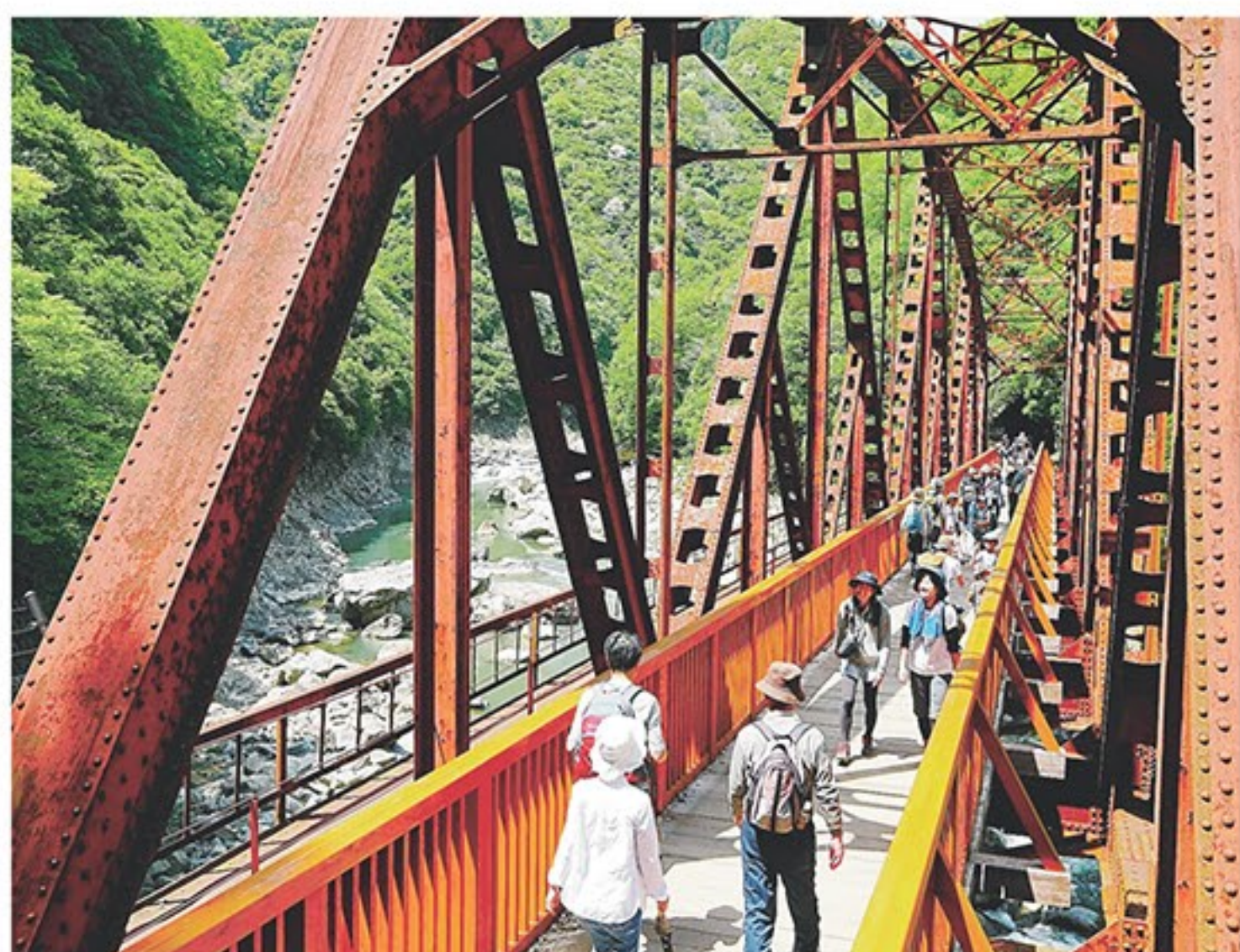
武庫川廃線敷は1986年に廃止となった旧国鉄福知山線(現在のJR宝塚線)の一部です。

前身は、1896(明治29)年設立の阪鶴鉄道が大坂から福知山を経て舞鶴までを結んだ路線。1907年に国有化。1986年の複線電化により、武庫川渓谷沿いの区間が廃止されました。

廃線区間の一部に安全対策を施し、2016年から一般開放。春の桜、秋の紅葉の名所として人気を博しています。枕木などが残った足元はしっかりとした靴が不可欠。六つあるトンネル内は照明設備がなく、懐中電灯は必須です。

今回のウォークはJR宝塚線の西宮名塩駅から武田尾駅までの約8km、約3時間の行程です。廃線敷にはレンガ造りのトンネル、鉄橋、枕木など随所に鉄路の面影が残ります。加えて紅葉のシーズン。

紅葉が彩る鉄路の面影



足元でしびきを感じる武庫川の渓流とともに、色付いた山々を背景に、秋の一枚を切り取ってみたい。

赤茶けた全長約70mの鉄橋「武庫川第2橋梁」。1899(明治32)年、当時の阪鶴鉄道が建設したという西宮、宝塚市境の武庫川

大迫力の放水を間近に



巨大な一庫ダムからの放水は迫力満点。川西市一庫

川西市の一庫ダムは、多目的ダムとして淀川水系の猪名川に建設されました。1983年に16年の歳月をかけて完成。堤高75m、堤頂長285.5mの重力式コンクリートダムです。猪名川流域の尼崎、伊丹、川西市、宝塚市など阪神間の洪水被害を軽減す

紅葉館 別庭あざれ 神田川さん監修茶寮で昼食



「関西の奥座敷」武田尾温泉の老舗旅館「紅葉館 別庭あざれ」=宝塚市武田尾温泉

2008年に改装された武田尾温泉の老舗旅館。2004年10月の台風23号で、大きな被害を受け、場所を高台に移しての再出発となりました。昼食は、料理家神田川俊郎さん監修の茶寮「心」shinで用意。季節の食材を生かした料理を、自然豊かな「関西

の奥座敷」武田尾温泉で堪能できます。



季節の食材をいかした茶寮「心」shinのランチ